

「みどり野きた住まいるヴィレッジ」にも参加!

北海道がおススメする住宅事業者(きた住まいるメンバー)のうち一定の要件を満たした建築家と地域工務店がコラボレーションして、緑・農・住のまち南幌町ならではの暮らし方を提案するプロジェクト「みどり野きた住まいるヴィレッジ」。北海道、南幌町、北海道住宅供給公社、(公社)日本建築家協会とともに私たち(一社)北海道ビルダーズ協会も主催団体として新しいまちづくりを応援しています。

- ゆとりある住宅配置や家の内外をゆるやかにつなぐデザインなど「クオリティ・ファーストの暮らし」
- 北方型住宅2020として耐震等級2、外皮平均熱貫流率(UA値)0.34W/m²・K以下、一次エネルギー消費量等級5(BEI=0.8以下)などの住宅性能
- BISやBIS-Eなど温熱環境の専門技術者による設計と施工 ● きた住まいるサポートシステムによる住宅履歴の保管

といった環境・デザイン・住宅性能を高い次元でバランスさせた「みどり野きた住まいるヴィレッジ」。今回は、北海道ビルダーズ協会会員が参加した、みどり野きた住まいるヴィレッジの施工例を一部ご紹介します。

てまひまぐらし

施工/武部建設(株) 設計/アトリEmomo

ちょっとした「てまひま」を楽しみながらかけたくなる。そんな暮らしの提案を詰め込んだ木造2階建ての小さな住まいです。

LDKと水回りのある1階は、緑の帯が連なる南側を開き、光と自然の色どりが満ちる空間に。眺望のよい2階には、地平線に落ちる夕陽や花火を望むテラスを設けた寝室とフリースペースを配しました。



オープン×クローズ -大きな屋根の小さな家-

施工/(株)キクザワ 設計/(株)エスエーデザインオフィス

南東の角地に建つ、カーポートを備えた約100m²(30坪)の木造平屋です。

イメージしたのは、大きな屋根の下に3つの小さな家的空間を持つ住宅。南に大きく開口を設けた平屋空間にメリハリを与えるため、外に向かってパーコード状に開いた空間と閉じた空間を配置し、北側には目隠しを兼ねたテラスを設置します。

ゆっくり、ていねいな暮らしを -カスタマイズできる家-

施工/晃和住宅(株) 設計/山之内建築研究所

四季の変化が楽しめる緑地に向け、南東に大開口を設けた約80m²(24坪)の平屋住宅です。

空間の核となるのはアイランド型キッチン。天井まわりには採光のための高窓、造作LED照明を配し、緑と光の移ろいを感じながら家事ができる家を目指しています。内装には、熱容量の高いコンクリートブロックと温かみのある道産材を採用しています。



新 北方型住宅2018 -南幌まちなかの家-

施工/(株)アシスト企画 設計/山本亜耕建築設計事務所

これからを生きる世代が南幌暮らしを楽しむための新しい北方型住宅を提案します。

眺めのよい2階の中心にLDKをレイアウトし、半屋外的空間として利用できる縦格子付きテラスを南西側に設けます。その反対側には、ロフト付き子ども室や書斎的なデスクを。いつでも子どもたちの気配を感じながら、お母さんは家事ができます。

